

地雷ゼロ宮崎 2021年度 総会

6月20日(日) 14:00～16:00 宮崎市民プラザ3F

1. 代表あいさつ
2. 地雷ゼロ宮崎の概要並びに活動方針説明
3. 2020年度活動報告並びに活動計画 2021年度活動計画
 - ◇全体 : 代表(上野)
 - ◇各専門部 : 各専門部責任者
4. 2020年度会計報告並びに2021年度予算
5. その他

今後の支援先について

みやざき地域貢献賞の報告

20周年イベントについて

地雷ゼロ宮崎(目的・活動方針)

目的

世界平和の実現＝すべての生命が安心して生きていける世界の実現
特に最初に縁のあったカンボジアの地雷廃絶と地雷被害者支援、
カンボジアの子ども達の教育支援、農村支援のための活動を行う

活動方針

一人一人がやれることを持ち寄ってできる形で活動を継続して行う。
地雷ゼロ宮崎の活動は自発的に行うボランティアである。
例えるなら「ハチドリのひとつく」(*)のように。

21年地雷ゼロ宮崎 組織表(役員)

代表	上野 匡毅
会計	
募金署名部門	
講演会部門	上野 匡毅
農業部門	高橋 宏江
監査	黒木 忠治

- ・代表以下、事務局と会計並びに各専門部の責任者を執行部と称す。
- ・各活動は、専門部に分担し活動していく。

(*)「ハチドリのひとつく」

森が燃えていました。森の生きものたちは われ先にと 逃げて いました。でもクリキンディという名のハチドリだけは いったりきたり口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは火の上にと落ちていきます。動物たちがそれを見て「そんなことをして いったい何になるんだ」といって笑います。クリキンディはこう答えました
「私は、私にできることをしているだけ」

外部団体一覧表

	団体名 (HP ホームページあり)	担当者、代表者	活動内容、コメント
県内	国際協力ネットワーク宮崎	代表 横田 獏	宮崎の国際協力NGO3団体が集まり結成。地雷ゼロ宮崎も団体会員。
	アジアヒ素ネットワーク (HP)	代表 横田 獏	ヒ素汚染に対してアジアで活動しているNGO,国際協力ネットワークの会員
	国際子ども支援団体H&H	代表 松崎美和子	バングラディッシュの子ども支援を行っている。国際協力ネットワークの会員
	JICA宮崎デスク	田代	国際協力ネットワーク宮崎とJICAでイベントを行っている
	宮崎県国際交流協会 (HP)		宮崎県の国際交流、協力のまとめ役機関、いろいろな相談にのってもらえる。
	都城ライオンズクラブ		
	宮崎大宮高校 国際ボランティア部		イベントや募金活動などで協力していただいている
	宮崎南高校 ボランティア部	眞武 誉子	
宮崎学園高校 インターアクト部	伊東 望	イベントや募金活動などで協力していただいている	
県外	テラ・ルネッサンス (HP)	代表小川真吾、鬼丸昌也	京都NPO地雷ゼロ宮崎が出来るきっかけの団体、過去13回カンボジアツアーを共催で行う。
海外	MAG プノンペンオフィス (HP)		地雷撤去団体、MAGのカンボジアヘッドオフィス
	MAG バッタンパンオフィス		MAGのバタンパン地域の地雷撤去を行っている
	Exceed		カンボジアでの義足センター無料で提供している。義肢装具師養成学校を併設
	キエンクリエン車いす工房		地雷被害者の職員が車いす作成して無償で提供している
	ピースフルチルドレンホーム2		毎年支援金を届ける孤児院
	テラルネッサンス カンボジア事務所	駐在代表 江角 泰	カンボジアバタンパンで現地活動をしている。地雷ゼロ宮崎も村落開発などを支援している

2020活動報告

4月	定例ミーティング中止
5月5日	農業部門 田んぼの種下ろし 赤米（上野、高橋、佐々木）
5月17日	定例ミーティング
6月21日	総会
6月27日	農業部門 田んぼ 田植え（6名）
7月3日	講演会 都城 岩吉中学校 3年生187名
7月19日	定例ミーティング
8月	農業部門 田んぼの畦草刈り
8月23日	街頭募金活動中止 定例ミーティング
9月13日	農業部門 田んぼの竹の切り出し作業
9月18日	講演会 田野中学校 国際理解教育 12名
9月20日	定例ミーティング
10月18日	定例ミーティング
10月24日	農業部門 稲刈り作業 27日
11月1日	農業部門 脱穀作業
11月15日	定例ミーティング 古代米ミックスの袋詰め作業
12月5日	日本生命労働組合宮崎支部様より寄付 50000円
12月13日	定例ミーティング 古代米、タイ米袋詰め作業
12月	街頭募金活動中止
1月17日	定例ミーティング中止
2月8日	宮日新聞 テラルネッサンス鬼丸氏 記事掲載
2月14日	定例ミーティング 古代米袋詰め作業
2月17日	宮崎県よりみやざき地域貢献賞を頂く。授賞式は中止
3月21日	定例ミーティング
3月	カンボジアへ送金終了

2021活動予定

4月18日	定例ミーティング マラウイ報告会水口さん 高校生25名参加
5月4日	農業部門 赤米、緑米、黒米種下ろし 国富町の田んぼ 6名
5月16日	定例ミーティング 中止
5月28日	講演会 高鍋東中学校 2年生86名
6月4日	高鍋東中学校 2年生86名 講演後募金活動をして19025円を頂く
6月13日	農業部門 赤米、緑米の田植え 国富の田んぼ
6月20日	2021年度 総会
7月	定例ミーティング
8月	定例ミーティング
8月	農業部門 田んぼの草刈り
8月	街頭募金活動
9月	定例ミーティング
10月	定例ミーティング
10月	農業部門 稲刈り
11月	定例ミーティング
11月	農業部門 脱穀、収穫
12月	定例ミーティング
12月	街頭募金活動
1月	定例ミーティング
2月	定例ミーティング
3月	定例ミーティング

定例 ミーティング 日時 毎月 第3日曜日 14:00～

場所 宮崎市民プラザ 3階

*今年度は新型コロナウイルスの状況により活動を延期、中止する場合があります。

2020 講演会部門 活動報告

担当 上野匡毅

7月3日	講演会 都城市祝吉中学校3年生 報告者 : 上野	参加 187名
9月18日	講演会 田野中学校3年生 報告者 : 上野	参加 12名

講演会 2回 参加者 199名

今年度の活動予定・方針

今までの講演会経験者と協力しながら講演会活動を行っていく。
年数回以上は講演会ができるようにする。

今年度 5月28日 高鍋町 高鍋東中学校2年生 87名

1 昨年度の実績報告

募金

街頭募金は中止した。募金箱を設置している。

街頭募金

8月 中止。

12月 中止。

設置募金箱

らいふのパン・ヒムカ健康道場・おあふ・河野整形外科

署名活動

2 今年度のこと

・募金について

街頭募金・・・未定

設置募金・・・設置協力の呼びかけ。

・署名活動について

インターネット、HPでの呼びかけを継続して行う

目的

すべての大地が安全安心に使用できる社会の実現
 持続可能な社会を実現するために宮崎、カンボジアの農業を応援する

活動方針

カンボジアの地雷廃絶に宮崎の農産物や農産品で支援協力をする。
 宮崎の良い農産品を買ってもらい宮崎の農の支援を行う。
 売り上げの一部をカンボジアの支援として寄付をする。
 楽しく、面白く、美味しいことを行う。

昨年度活動報告

田んぼでの米作り

国富町の本庄の田んぼで「タイ米」「赤米」「緑米」を栽培した。

5月種下ろし、6月田植え、7月草刈り、10月収穫のスケジュール

「赤米」「緑米」と黒米を購入して古代米ミックスとタイ米で販売を行った。

販売	取り扱い農産物	単価	売上個数
	1 古代米ミックス	350円	180個
	2 彩り米	1000円 (1k)	5個
	3 ホリーバジル	500円	5個
	4 西都自然栽培の小麦	500円	31個
	5 西都自然栽培の麦茶	500円	10個
	6 米良大根切り干し	390円	24個
	7 そば粉	400円	9個
	8 幸せ豆	500円	93個
	9 タイ米	400円	29個
10	レモングラス	400円	2個
11	はったい粉	300円	2個

今年度

販売 引き続き古代米、黒米、小麦、大麦等の農産物の販売を行う。

実践 国富の田んぼを1畝借りて、赤米、緑米、黒米を作る予定

5月に種下ろしは終了。6月田植え、8月草刈り、10月収穫の予定。

地雷ゼロ宮崎
2020年度収支決算書

2020年4月1日～2021年3月31日

項目	予算	決算	備考
(収入の部)			
①会費収入	64,000	41,000	
AB会員	60,000	36,000	18名
Jr会員	4,000	0	0名
賛助会員	0	5,000	1団体
②事業収入	70,000	122,914	
カンボジアグッズ販売売上	50,000	0	
農業部門商品売上	20,000	122,914	
③寄付金・募金・助成金	170,000	643,470	
寄付金	170,000	632,050	
街頭募金・募金箱		11,420	
④その他	100,000	24	
銀行預金利息		24	
⑤前期繰越金		2,531,387	
寄付金残高繰越金		1,594,326	
前期繰越金		937,061	2019年度 会費運営費残 361,228 2019年度 グッズ売上残 200,321 2019年度 印刷料残 155,525 2019年度 募金残 192,124
収入合計	404,000	3,338,795	
(支出の部)			
①管理費	75,000	16,633	
印刷費	10,000	1,495	印刷、コピー
通信費	15,000	10,215	切手、葉書
消耗品	10,000	2,843	文房具等
団体年費	15,000	0	
経費	20,000	2,080	ロッカー代、郵払手数料
その他	5,000	0	
②事業費	279,000	846,556	
カンボジアグッズ部門	20,000	0	
・グッズ仕入れ金	20,000	0	
募金・寄付金部門	249,000	814,740	
・カンボジアへの募金		219,920	¥109.96/USD
MAG 2000\$			
Exceed 300 \$		32,988	¥109.96/USD
キエンクリエン 車イス工賃 300\$		32,988	¥109.96/USD
チルドレンホームⅡ 400\$		43,984	¥109.96/USD
アウルネサス クラウドファンディング		100,000	家畜銀行
アウルネサス		384,860	家畜銀行 ¥109.96/USD
カンボジア村落開発先支費 3500\$			
農業部門	10,000	31,816	
・商品仕入れ金	10,000	31,816	
③予備費	50,000	0	
支出合計	404,000	863,189	
当期収支差額	0	2,475,606	

会計監査

恩, 木 忠 治

2021年度収支予算書

2021年4月1日～2022年3月31日

項目	予算	備考
(収入の部)		
①会費収入	67,000	
AB会員	60,000	30名
Jr会員	2,000	2名
賛助会員	5,000	1団体
②事業収入	55,000	
カンボジアグッズ販売売上	5,000	
農業部門商品売上	50,000	
③寄付金・助成金等	200,000	
寄付金	150,000	
募金	50,000	
④その他	10,000	
収入合計	332,000	
(支出の部)		
①管理費	27,000	
印刷費	5,000	印刷、コピー
通信費	10,000	切手、葉書、メール便
消耗品費	5,000	文房具等
関係団体年会費	0	
諸経費	3,000	街頭募金許可代、送料他
その他	4,000	
②事業費	230,000	
募金・寄付金部門より カンボジアへの寄付	200,000	
農業部門 仕入れ金	30,000	
③20周年イベント費	75,000	
支出合計	332,000	
当期収支差額	0	

会計監査

恩, 木 忠治

1 地雷除去団体MAG

MAG への寄付。今まで通りに支援。年間目標 2000ドル寄付（20万円）
活動費として使用してもらう。

2 被害者支援

- ・ Exceed（義肢装具師養成学校）
目標 500ドル（5万円）
- ・ キエンクリエン車いす工房
目標 500ドル（5万円）

3 テラルネッサンス村落開発

- ・ 地雷ゼロ宮崎で最貧困層の村の支援を行う。
現地での必要な状況に応じて出来る範囲の資金提供を行う。

4 こども支援

- ・ ピースフルチルドレンホーム2
資金提供を行う。年間 5万円生活費として

2021地雷ゼロ宮崎 カンボジア寄付報告

NPO法人テラルネッサンス、カンボジア駐在代表の江角泰さん（地雷ゼロ宮崎会員）にカンボジア支援先に送金をしてもらいました。ご協力、誠にありがとうございました。コロナウイルスのため訪問は出来ませんでした。



MAG（地雷撤去団体）

寄付額 2000ドル 219,920円

地雷撤去の費用として使用される



孤児院ピースフルチルドレンホームII

寄付額 400ドル 43,984円

現在19名の子どたちが共同生活をしている
子どもたちの生活支援として使用される



キエンクリエン車椅子工房

寄付額 300ドル 32,988円

遠隔地の車椅子利用者に車椅子を製作している。今回の寄付は古いパソコンを新しいパソコンに買い換えデータ管理をスムーズにできるように購入する予定。



The Exceed カンボジア義肢装具士養成学校

寄付額 300ドル 32,988円

義肢装具士を要請する学校とクリニックが併設されている施設。
義肢装具が必要な人への装具代として使用される

NPO 法人テラルネッサンス

寄付額 3500ドル 384,860円 家畜銀行の資金として使用される
100,000円 家畜銀行のクラウドファンディング

コロナ禍で仕事がなくなった最貧困地域の村人の収入確保のため家畜を貸し出す。

寄付額合計 6500ドル 814,740円

皆さまへご報告

この度、令和3年2月17日に宮崎県より社会貢献に取り組む団体などに贈られる「みやざき社会貢献活動表彰」の受賞を致しました。今回コロナ禍のために受賞式は中止となりましたが表彰状を推薦者である宮崎市民活動センター様よりいただきました。今年が地雷ゼロ宮崎設立より20周年にあたる年となり大きなプレゼントとなりました。これも今まで活動を支えて頂いている会員の皆さま、ご協力頂いている皆さま、ご縁を頂いた皆さまのお陰です。感謝申し上げます。引き続き20年目も継続して私たちのできる形で活動をしていきます。

今後ともよろしくお願い致します。

表彰状の写真を添付いたします。（飢肥杉でできた立派な表彰状です）

地雷ゼロ宮崎 代表 上野匡毅

表彰状

地雷ゼロ宮崎 殿

貴団体は多年にわたる社会
貢献活動の実践を通じて
共に支え合う地域社会づくり
に貢献されその功績は誠に
顕著なものがあります
よってこれを表彰します

令和三年二月十七日

宮崎県知事 河野俊嗣



地雷ゼロ宮崎は2021年11月で20周年を迎える。

11月に20周年イベントを企画し行う予定

内容（仮）

以下の3つで企画をして進めていく予定

- 1 イベント 講演会 会場を借りての講演会
- 2 リモート配信、テラルネッサンスの鬼丸氏や江角氏とつないで講演など行ってもらう
- 3 紙媒体 20周年記念誌の作成など。

日時、会場、内容などはこれから詳細を決めていく。

地雷ゼロ宮崎 活動歴 2001年11月～2021年6

活動内容

- ・毎月1回のミーティング。
- ・年に2回の街頭募金活動で計36回の街頭募金活動
- ・年数回の講演会平和学習啓発活動。
今までに小中高大や各種団体など165回の講演会と述べ11563名に伝える。
- ・カンボジアの現状を視察するスタディーツアーを計13回を行い
宮崎で集めた寄付金や文具などをカンボジアへ届ける。
- ・イベントへの参加やイベントを企画して開催し啓発活動を行う。
その際には高校生、大学生ボランティアとして参加をしてもらう
- ・宮崎の農産物を支援する農業部門活動と月数回の農業活動

1個人4団体 社会貢献表彰

県発表

県は9日、社会貢献に取り組み個人や団体などに贈る「みやぎ社会貢献活動表彰」の受賞者を発表し、JR清武駅(宮崎市清武町)の駅舎や周辺の清掃

などを続けている清武町の「西新町さんさんクラブ」(近藤芳文会長)など、1個人4団体が選ばれた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、17日に予定していた表彰式は中止。県は各受賞者を推薦した団体を通じて、表彰状を贈る。同表彰は2015年度から「明

日のみやぎづくり表彰」として行ってきたが、趣旨をより分かりやすくするため本年度から名称を変更した。その他の受賞者は次の通り。(敬称略)

- 【個人】寺岡俊子(綾町)
- 【団体】吟詠会(宮崎市)▽地雷ゼロ宮崎(宮崎市)▽手話サークル「みち」(国富町)

認定NPO法人テラ・ルネッサンス創設者

鬼丸 昌也

客論



おにまる・まさや 1979年、福岡県生まれ。立命館大在学中の2001年、法人創設。アフリカやアジアで人道支援を行う。京都市在住。

地雷被害の悲惨さをカンボジアで目の当たりにした。月日がたち、坂本さんか私は日本に戻り、カンボジアで地雷被害の殺さんが会いに来てくれました。写真を見ながら地雷被害の除去の大変さ、地雷被害者の苦しみを話しました。その当時、普通の大学生だったの間に、上野さんはじつと耳私にできる「地雷問題」へを傾けてくださいました。の取り組み方でした。

あるNGOのミーティングで、私の話を宮崎の人たちから聞いてもらいたいと上野さんが早速、講演会を宮崎で企画。延べ100人もの人を呼んでくれたのが、宮崎が参加してくださいました。その後、講演を聞いた佳さん。実は、この一声が人たちの中から地雷をなく宮崎の心ある人との出会い

縁で広がる宮崎との出会い

上がり、「地雷ゼロ宮崎」が立ち上がりました。地雷ゼロ宮崎とテラ・ルネッサンスは、その後、一緒にカンボジアへのスタディーツアーや地雷被害者の支援活動を行うなどずっと連携をしています。また、地雷ゼロ宮崎の大学生スタッフとして活躍していた江角泰さんは宮崎公立大を卒業後、立命館大学院に進学。テラ・ルネッサンスでインターンを始め、現在では職員としてカンボジアに赴任しました。

さらに出会いは続きます。地雷ゼロ宮崎メンバーでもある黒木忠治さんの出身地である西米良村。そのご縁で、西米良中学校での講演が実現。さらに、2005年に開催された愛・地球博「アフリカの叡智プロジェクト」で、アフリカ・ウガンダについて学んでもらうことになりました。

学びを深める中で、子ども兵の存在に衝撃を受けた。当時の3年生13人。その年に開催された第11回小中合同学習発表会で、「もしも西米良で戦争が起きたら」というテーマでオリジナル劇を創作するまで発展していきました。

創作劇のタイトルは「消えない傷」。ウガンダ北部での内戦のように、日本でも紛争が起こり、西米良中3年生の半分が反政府勢力に誘拐され、上官から誘拐に誘拐された友人たちを殺害するように命令されるといいます。宮崎私とテラ・ルネッサンスに、国際協力・国際交流は、誰にでも取り組むことができるものだと思えるので、生徒たちはウガンダの元子ども兵士のことを学び、ビデオレターで交流する中で、「かわいそう」と見るのではなく、同じ人間として受け止め、自分たちの問題として捉える機会になりました。命の大切さ、友情とは何か。とても小さな村の小さな中学校から、地球規模で人の痛みや喜びを受け、表現しました。

宮崎での出会いから、こんな場所に住んでも、国を超えて友情を育み、地球規模の課題にそれぞれの方法で取り組むことができます。宮崎私とテラ・ルネッサンスに、国際協力・国際交流は、誰にでも取り組むことができるものだと思えるので、生徒たちはウガンダの元子ども兵士のことを学び、ビデオレターで交流する中で、「かわいそう」と見るのではなく、同じ人間として受け止め、自分たちの問題として捉える機会になりました。命の大切さ、友情とは何か。とても小さな村の小さな中学校から、地球規模で人の痛みや喜びを受け、表現しました。

2月8日